

4 児童福祉

▼乳幼児健診や訪問指導を継続。
▼年齢に応じた切れ目のない子育て支援策および子どもの貧困対策について検討。
▼要保護児童対策について、相談機能の充実を図り、児童虐待等の事案に迅速に対応する体制を整え、未然防止を図る啓発活動の推進に努める。
▼悩みや不安を抱える保護者が孤立しないように、家庭と学校、教育と福祉をつなぐ取り組みを検討。

5 障がい者福祉

▼町障がい者福祉計画に基づき、障がい特性を理解するための普及啓発に努める。
▼障がいのある人が持つ能力を十分に発揮し、その人らしく生きられるよう、関係機関・団体が連携し、情報を共有し、各分野における専門的な知識を生かした支援に努める。
▼「ヘルプマーク」の普及・啓発に努める。

6 高齢者福祉

▼「いきいき百歳体操」の導入支援、町内のタクシー会社と連携した「健脚講座」の送迎体制の強化により介護予防の通いの場の充実を図る。
▼「個別地域ケア会議」のレベルアップを図るため、会議のアドバイザーである専門職に対する研修を実施。

PRから、デジタル媒体を中心としたPRへの移行を推進。
▼体験型観光ルート、史跡散策ルートなどの滞在型観光を視点とした観光情報を配信。

5 雇用

▼町内企業で職場体験学習を行う中学生キャリア教育の実施における学校と企業への取組支援。
▼胆江管内において高校生を対象とした説明会や高校教員を対象とした新卒求人の内容情報交換会の実施。
▼就職相談会の実施や情報発信等、県、近隣市町のほか関係機関とともに連携を図り、就労支援に努める。
▼雇用対策および企業への働き方改革の促進について、国や県の施策について情報発信を行う等、地元企業の人材確保を図る。

基本目標4 教育文化

1 学校教育

▼町立幼稚園再編計画に基づき、南方幼稚園の認定こども園化に向けた作業を進め、幼稚園において適正規模の下での就学前教育が実践できるよう努める。
▼コミュニティ・スクールを継続。
▼幼稚園・保育園・小学校、中学校とつながりをもった英語教育カリキュラムを編成。
▼幼少期からコミュニケーション活動を大切にしながら英語に触れる機会を確保し、英語感

「介護職員就職支援助成金」と「奨学金返還補助金」を継続し介護人材の確保に努める。
▼地域で認知症の方を見守り、支えるため、地域見守りネットワークの協力事業所の拡大、認知症サポーターの養成に努める。

基本目標3 産業

1 農業

▼ひとめぼれや金色の風など主食用米の栽培を促進。
▼アスパラガス、きゅうり、ピーマン等の作付拡大を図る。
▼ドローン操縦講習の費用助成などスマート農業の実践を支援し、水稲から園芸作物への転換を推進。
▼肉牛では、繁殖センター建設支援等、酪農では、六次産業化の支援や経営環境の整備を目的とした学習機会の提供などを実施。
▼幅広い年齢層から新規就農者の確保と定着を図る。
▼関係機関とともに農業法人の組織体制や経営の改善を支援。
▼農業委員会と連携し、農地利用の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止・解消に努める。
▼基盤整備事業の促進。
▼森林環境譲与税活用事業について、個人所有の森林の適正管理を促すため、町内森林の現状把握に努める。

2 工業

▼立地企業の円滑な事業展開を支援

覚の育成と英語に関する興味・関心の喚起を図る。
▼特別支援学級の設置や特別支援員の配置。
▼地域の歴史や文化、産業の価値に対する理解を深め、自分が生まれ育った地域へ愛着や誇りを持てるよう学習機会の確保に努める。

2 生涯教育

▼生涯教育40周年記念式典の挙行のほか、周年事業を年間を通じて実施。
▼町民一人ひとりが学んだ成果を生かす文化や地域づくりなどに活かすことが出来る環境づくりに努める。
▼各世代、各地域のニーズに対応した生涯教育を推進。
▼生活習慣の確立や世代間交流などの体験活動の提供など青少年期の生涯学習の推進。
▼子育てや社会活動、地域課題解決に係る学習機会の提供など、成人期の生涯教育の推進。
▼健康づくりや生きがいづくり等高齢期の生涯教育の推進。
▼社会教育施設の長寿命化計画の策定に取り組む。

3 生涯スポーツ

▼スポーツ吹矢やシャッフルボードといったユニースポーツの普及活動を継続。
▼スポーツ環境の整備・充実を図る。
▼スポーツ関係団体に対して継続的な支援を実施し、指導者養成事業等を通じてスポーツ競技力の向上を目指した指導者の人材育成を実施。

し、雇用と税収の確保に努める。
▼県が構想する「北上川バレープロジェクト」と連携し、新規立地獲得に努める。
▼IoT(モノのインターネット)分野など新たな業種の新規誘致に向けた取り組みを推進。
▼町内未利用地の有効活用など産業用地の確保に向けた取り組みを実施。
▼「きたかみ・かねがさきテクノメッセ」の開催。
▼ハイブリッドカー購入補助金、中小企業振興資金利子補給補助金、展示会出展補助金を継続し、産業振興を図る。

3 商業

▼消費税率10%への引き上げに伴う軽減税率制度、増税後の消費者へのポイント還元による「負担軽減策」のほか、電子マネー等のキャッシュレス決済システム導入について商工会と連携して対応。
▼金ヶ崎町空き店舗活用補助事業の内容を見直し、新たな出店を促進。
▼「創業支援事業計画」に基づく創業塾の開催や創業者の支援を継続。
▼商工会青年部と女性部の組織活動強化や商工会が国の認定を受けた「経営発達支援計画」に基づく取り組みを支援。

4 観光

▼日本人観光客のみならず、外国人観光客誘客による観光産業の活性化に努める。
▼紙媒体を中心とした

4 読書活動

▼図書館の読書環境の整備と、児童生徒の読書活動を推進。
▼「エミリー・デイキンソン」についての町民への普及および国際感覚の一層の醸成を目指し、情報発信や詩の朗読発表等を企画。

5 文化財

▼国指定史跡鳥海柵跡の調査研究を継続。公開活用を目的として、完成予想図の作成、散策路や案内板、便益施設の基本設計を行う。
▼国選定の城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区の建造物の修理を行い、歴史的景観の整備を推進。
▼国登録有形文化財2カ所の公開活用を推進。
▼郷土芸能について、各保存団体の状況を踏まえた支援方針の検討と、町郷土芸能保存会への支援を実施。
▼観光資源としての活用を念頭とした情報発信を検討。

6 国際理解

▼生涯教育40周年の記念式典にあわせ、姉妹・友好都市3都市の物産展を開催。
▼中国長春市から保健体育公式訪問団および金ヶ崎マラソンの選手を受け入れ。
▼長春市に町職員を6ヶ月間派遣。
▼ILCについて、国の動向を見ながら、関係団体、近隣市町などと連携し、取り組みを継続。



photo : 役場展望台から見た金ヶ崎町の風景